

(分野名) 4 農山漁村における男女共同参画の確立

(施策名) (4) 女性が住みやすく活動しやすい環境づくり

1 主な施策の取組状況及び評価

女性の農業活動と子育ての両立を支援するため、託児機能や各種研修機能等を有する総合施設の整備、母性保護セミナー、子育て相談員研修などを行っている

地域における補助労働力を確保する観点から、農業ヘルパーセンターの整備や、JAでは無料職業紹介などに取り組んでいる。

住みやすく快適な生活環境の整備に向けて、環境に配慮した農村整備を推進している。また、農山漁村への理解の醸成を図るため、都市と農村の交流、食育活動の推進等を行っている。

また、男女共同参画関係のシンポジウム、女性起業フォーラム等の開催を通じ、女性農業者と消費者との交流や、ネットワーク形成の促進に取り組んでいる。

2 今後の方向性、検討課題等

女性の仕事時間は男性の約 1.2 倍であり、女性が経営参画する上で、「家事・育児・介護等の負担が大きく経営に参画するゆとりがない」ことが大きな障壁となっている。

農村においても、高齢化、核家族化が進展し、育児の負担は深刻な課題となっている。このため、子育てネットワーク活動の推進、優良事例の紹介など、地域全体で女性を支援する体制づくりが必要となっている。

3 参考データ、関連政策評価等

別紙参照

農林水産漁業者の1日の平均労働時間

・労働時間等

	仕事	家事	介護等	育児	合計	男性比
男性	5.65	0.27	0.03	0.03	5.98	1.00
女性	4.40	2.77	0.12	0.12	7.40	1.24

出典：「社会生活基本調査 平成13年」

・休養時間等

	睡眠時間	休養	T V、新聞等	趣味娯楽	合計	男性比
男性	8.32	1.48	3.03	0.43	13.27	1.00
女性	7.82	1.30	2.33	0.33	11.78	0.89

出典：「社会生活基本調査 平成13年」

農林漁業者における女性と男性の生活時間の比較

